

木工部会

音を奏でる木工品づくりに熱！

木工部は昨年より音を奏でる木工品づくりを始めました。

木工部だから「木」にこだわるのは当然、でも音をだすには・・・思考錯誤？インターネットを開きながら「竹」を発見、結果「カリンバ」の楽器を作り始めました。

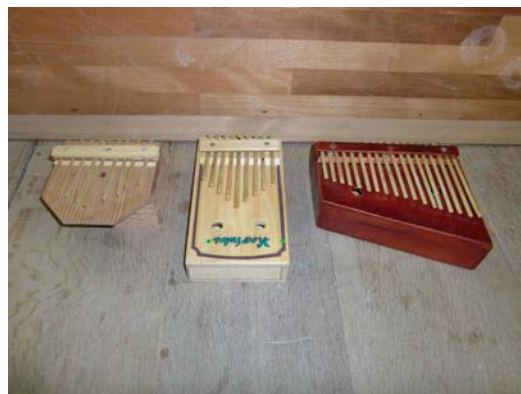
「カリンバ」

主にアフリカでみられる楽器で、共鳴箱の上に金属や竹などの棒（キイと呼ぶ）をはじいて音をだす楽器。キイの本数、並び方、共鳴箱の材料、形は様々であり左右の親指で弾く。この楽器の呼び名は国や地方によって様々である。

昨年（2008 年）ふくてっく木工部も子どもたちへの木工教室での題材として取り上げ、多くの子どもたちに喜んでいただきました。



【最初の作品】



【各部員が作ったカリンバ】

「キンダーハープ」

新しく今年（2009 年）挑戦の音を奏でる木工品は・・・「キンダーハープ」

幼児のために考え出された弦楽器。耳を澄ませば澄ますほど心に届く優しい音を響かせてくれます。幼児期の音体験を豊かで楽しいものにしてくれます。宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」のテーマソングで話題になりました。



【いろんなタイプを作りました】



【子ども木工教室での提案品】

これからもどしどし新しい作品を提案する木工部として活動してまいります。さて、今度のキンダーハープは子どもに喜んでもらえるだろうか？

（西川 朋生）